

ごみに関する問題



みお 尾緩菜 議員
(宇治高校3年)

高梁市は、ごみの問題について、しっかりと対応されていると思います。が、まだ多くの問題があると思います。高梁市として、どのようなことに課題意識を持っていますか。また、高校生としてどのように関わることが期待されていますか。

【答弁】 近藤隆則 市長

ごみは毎日、収集・焼却などをしなければならず、1日も欠かすことはできません。まずは、人が生活をする上で必ず出てくるという認識を保持しなければいけません。

市内で出る1人1日あたりの燃やせるごみの量は、5年前が518グラム、1年前が556グラムとなっており増加しています。そのため、人口は減っていますがごみの総量は減っていません。



こうだみ 耕田美桜 議員
(高梁城南高校2年)

定住を促進する政策は？

進学や就職で、高梁市から市外に出ていく若者が多いと聞きます。

市では、18歳までの医療費が無料ですが、他にも地元でUターンする若者が減る政策や、取り組もうとしている政策はありますか。

また、市内を運行するバスの本数が少なく、下校時など不便で困っています。市内のバス利用者も本数が増えれば嬉しいと思うので、増便を検討していただきたいです。

【答弁】 近藤隆則 市長

定住のためのサポート事業は、子ども医療費無償化や、新婚世帯向けの家賃補助など75の事業を行っています。が、まだ足りないかもしれせん。高校生の皆さんからも提案をいただければと思います。

働く場所について、市外でなければ

また、燃やせるごみへのスプレー缶やライターの混入など不適切な分別により爆発の危険性があり、清掃員が危険にさらされています。

市では紙資源のごみ回収を行っており、学校で出た紙ごみはリサイクルをしていきたいと思います。同じように家庭でも実践していただきたいです。1枚だから燃やせるごみにするのではなく、積み重なればすごい量になるということを意識して廃棄していただきたいと思っています。

ごみの収集や処理には、毎年約6億円かかっており、経費を減らすために分別を徹底しなければなりません。現在、市のごみ袋は無料ですが、このままでは有料化も考えなければなりません。一人一人が行動すればなりません。一人一人が行動し、できることから始めていただければと思います。



なかむら さち 中村幸知 議員
(宇治高校3年)

ばできない職種もありますが、リモートワークなどが進むことで、高梁でも可能な仕事が増加します。働いてもらうためには、住む場所が必要になります。民間事業者と連携を取り、さまざまなタイプの住宅を建設していく必要があります。

また、情報化時代に対応するため、光ケーブルの整備を進めており、リモートワークなども利用しやすくなります。さらに、学校や企業などで高速回線が利用できる「ローカル5G」の導入も検討しています。皆さんには、ぜひ活用方法を提案していただきたいと思っています。

公共交通に関しては、公共交通全体を見直す必要があります。経費を削減するだけでなく、せっかく使うなら利便性を向上させる方向で検討していきたいと思っています。



ひさぎさき 久崎彪伍 議員
(高梁城南高校2年)

バスの利便性の向上を

高梁市には「高梁市高校生バス通学費補助金制度」があり、定期券購入費用の2分の1の額の補助が行われています。私は有漢地区から松山高校に通っていますが、学校が終わる時間にはバスの便がないことから定期券を買うことができません。家族に車で送迎してもらっています。もし全日制の高校生と同じメリットを受けられることが出来れば、私だけでなく他の生徒にもバスの利用という選択肢ができます。今後、バス通学補助金制度を見直し、夜間定時の生徒の交通事情を改善していただくことは可能でしょうか。

【答弁】 近藤隆則 市長

質問には、往路だけのため定期券が買えないこと、帰りのバスの便を確保することの2点があります。

定期券は、通常運賃より安くなっており、市の補助も合わせると4分の1程度の自己負担になっていると思います。週末や通学時以外にも利用できることを踏まえて検討していただき、往路だけでも有利になるなら購入を考えていただければと思います。

バスの便に関しては、あくまでも民間企業である備北バスが運営しているため、営業利益を確保しなければならず、夜間に走らせることは難しいと思います。ただし、市全体で、バスを含む公共交通のあり方を検討しており、停留所までのアクセスの確保なども公共交通の一部として考える必要があると思っています。すぐに回答はできませんが、良い方向で見直し、後進の生徒の皆さんに示していきたいと思っています。



とだの 戸田蘭 議員
(松山高校1年)



おだゆきのお 小田幸伸 教育長



ながやすな 永安那名 議長
(高梁高校2年)



こんどうたかのり 近藤隆則 市長

感染症対策のため傍聴は別室で行いました

